

地方創生に係る意見交換会要旨

- 1 日 時 平成27年9月9日(水) 18時30分～20時15分
- 2 場 所 復興まちづくり情報交流館
- 3 開催目的
今年度策定する「石巻市人口ビジョン」および「石巻市まち・ひと・しごと総合戦略」について、市外から石巻に移り住んできた若者の意見を反映し、本市への新しい人の流れをつくり、若い世代が安心して子育てができる環境を整備することを目的に実施した。
- 4 参加者 11名(下記名簿のとおり)、オブザーバー2名、事務局5名

地方創生に係る意見交換会メンバー

NO.	団体名	氏名
1	日和キッチン	天野 美紀
2	株式会社ビッグゲート	大関 将広
3	コンパクトシティいしのまき・街なか創生協議会	大塚 友子
4	特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク(やっぺす)	兼子 政慶
5	一般社団法人 ピースポート災害ボランティアセンター	小林 深吾
6	一般社団法人 ピースポート災害ボランティアセンター	山元 崇央
7	公益社団法人みらいサポート石巻	中川 政治
8	一般社団法人 キャンナス東北	野津 裕二郎
9	一般社団法人 イトナブ石巻	古山 隆幸
10	こども∞感ぱにー	榭谷 和子
11	一般社団法人 ISHINOMAKI2.0	渡邊 享子
(オブザーバー)		
NO.	所属	氏名
1	石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議会長	後藤 宗徳
2	石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議副会長	阿部 紀代子

5 主な意見

(1) 基本目標2「人材を育成し、安定した雇用を創出する」関連について

No.	参加者意見
①	石巻から出たくても出られない若者もいる。学力の問題であったり、結婚が早かったりと事情は様々であるが、そういった若者はハローワークには行かないし、魅力がある仕事に就くことも難しい現状がある。 <u>若い世代向けの雇用のマッチングや働き方の提案があると住みやすくなる。</u>
②	求人があっても求職者が少ないのは、働くための環境が整備されていないということもあると思う。 <u>専門的なスキルを身に着けさせ、そのギャップを埋めるような施策も必要かと思う。ソーシャルビジネスの種を成長させるために、環境を整備する必要があるのではないか。また、市の創業支援についても、上限枠があるため利用しづらい面がある。もう少し枠が広がることで、ビジネスモデルとして成り立つ業種もあるのではないか。</u>
③	国からの交付金や市内企業が域外から稼ぐお金をはじめとした外貨（市外からのお金）の獲得をしっかりとやりながら、それを市内に循環させるとともに、市内のお金はできる限り大切にす（流出させない）仕組みが必要。 <u>行政も民間でもやれることを市やると業務量増となるだけだが、民間がやると「しごと」の創出となる。役所がやることと民間でもできることを線引きするために、業務のプロセスを明確にして、役割分担をしていくことも必要ではないか。</u> また、 <u>外貨を稼ぐためには、域内・域外で石巻に関わりを持つ人に関する情報を管理するプラットフォームを持ち、潜在顧客として囲い込むことが重要。</u> 潜在顧客の情報があれば民間も営業がしやすくなるのではないか。
④	地元の若者が育って世界に羽ばたいていくことも大事であるが、 <u>地元に残って盛り上げたいと思う若者が増えることも大事</u> である。地元に残る若者が声を上げる機会が少ないと感じるので、地元のことをもっと知って意外な魅力(面白い人との出会い等)を感じ、背中を押してあげるような環境があるといいのではないか。 <u>出る杭を伸ばす教育とボトムアップで若者を育てることの両方が必要</u> だと思う。 <u>地域の仕事の幅を広げてあげることも重要</u> である。
⑤	どこに課題があるのかという問題意識を持つことが重要で、ターゲットをどこに持っていくかでアプローチの仕方も変わってくる。都会ではない地域で、課題意識を持った方がコミュニティやネットワークを形成しているところもある。 <u>自然があふれる場所で子育てがしたいと思う一方で、ある程度都会で、仕事に通えるであるとか、収入があるとかいうバランスも必要</u> である。

(2) 基本目標3「絆と協働の共鳴社会をつくる」関連について

No.	参加者意見
①	若者は市外に流出すると思う。 <u>大切なのは、人材が循環する流れを作ることと、石巻で知識・技能を習得することで、若者が夢や希望を持って新しいチャレンジができるような環境を作り、それを目指して新たな人材が入ってくること</u> だと思う。
②	外資系の会社では、毎年、組織の人員の3割は入れ替えがあった。やはり新陳代謝は大事。一方で、 <u>市外にチャレンジした人材がまた石巻に戻ってくる際の受け入れ態勢も整備する必要</u> があると思う。

③	<p>新しい人の流れを作るということだが、<u>震災後、石巻には大勢のボランティアや団体が入ってきている。そういう意味では、新しい人の流れができている部分もある。</u>地方創生というが、小手先や他自治体の真似で施策をするのではなく、<u>震災前の4～5倍規模の巨額の復興予算で実施されてきた事業に関連して、大きな人の動きも生まれているので、まずは現状を分析することが大事</u>である。京都が観光地としてブランドもあるが、伝統を守るだけではなく、常に新しい人やモノが循環する流れがある。<u>循環を生む仕組みを創り出す覚悟も必要。</u>(京都市人口の1割は学生で占められ、常に流動している。)</p>
④	<p>これまでと同じ目線で事業を実施するのではなく、新しい軸で考えていく必要があると思う。今、地方創生ということで色々な自治体が取り組みを進めているので、<u>他の自治体と同じことをやっていると、石巻に新しい人の流れを作ることにはできないのではないか。行政があまりかかわらないようなことを石巻独自の魅力としてPRしたり、全国から仕事を募集して行政がそれに資金を出すということも面白い取組</u>と考えられる。</p>
⑤	<p><u>若者がやることを地域が受け入れてくれる環境の整備が必要</u>と考える。例えば、牡鹿地区では、若者がチャレンジできるような環境があると感じているし、課題も多いがポテンシャルもあると思う。</p>
⑥	<p><u>どこに、何人、どういう人に来てもらいたいのか、また、その地域の住民がそれを求めているのか考える必要</u>がある。また、元々ある仕事や魅力ある暮らしを掛け合わせることで、人が行き来して、生き生きと生活できるようになるのではないかと。</p>

(3) 基本目標4「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」関連について

No.	参加者意見
①	<p>少子化は今に始まった社会現象ではないと思っている。現在、<u>少子化が進んでいる地域は、昔から何らかの理由や問題があったはずで、その原因が何かということ突き詰めることが必要</u>であり、小手先だけであると軸がぶれてしまう。<u>もっと現場の小さな意見を聞くことが必要</u>である。そのためには、その地域の現場の声を聴くことが最も重要である。</p>
②	<p>少子化対策という観点からいうと、二つの視点があり、出会いのきっかけを作るということ、子どもをどう育てるかということが重要だと思う。自分の活動から、<u>石巻市は子育ての環境がまだまだ整っていない現状がある</u>と感じる。</p>
③	<p>若い時に子供を産んで、その後、シングルマザーになる女性も多いと感じている。<u>シングルマザーが働きやすい環境を整えることも必要</u>ではないか(事実婚に対する支援のあり方等)。</p>
④	<p>これまで、<u>25歳～35歳の年代に対する市の施策は無かったのではないかと。</u>地方創生を考えるにあたって、どの年代をターゲットにするかという問題はあるが、<u>結婚・子育てを考える世代に対する支援も考えてみてはどうか。</u></p>
⑤	<p>これから子どもを産んで育てていこうと考えている人にとっては、どこで子どもを育てるかということが非常に重要なのではないかと。特別な理由がないと、あえて市内に移住するとは思えない。<u>先端の教育を受けさせたいと考える人もいれば、豊かな自然の中でのびのびと子育てをした</u></p>

	いと考える人もいる。 <u>どちらかに特化した教育を実践できる特区を作り、独自の教育を受けられる</u> というようなことも考えてもよいのではないか。
⑥	<u>少子化の原因として、未婚者に対するプレッシャーが無くなってきている</u> ということがあると思う。個人の自由な生き方が認められるようになっており、「結婚しない」という選択肢も世間に受け入れられるようになった。一方で、 <u>子どもを産んだ人に対するサポートを充実させることが重要</u> になってきていると思う。
⑦	例えば、アメリカやシンガポールでは IT に特化した教育を行っている学校がある。自分の知り合いにも、子どもをその学校に入れるために、わざわざ海外に移住している人もいる。 <u>ITに特化した教育を実践できる特区を作ることも、他にはない独自の取組になる</u> のではないか。

(4) 総合戦略の進め方について

No.	参加者意見
①	今回の <u>意見交換会での発言が専門の部署等で繋げられる（吸い上げられる）仕組みや、自由に意見交換できる場を作り</u> 、この場での意見が無駄なものにならないようにしてほしい。
②	<u>気仙沼市では、委員会の下にワーキンググループが複数ある</u> 。急には難しいと思うので、今回のこういう <u>意見交換会が、継続すると良い</u> と思う。